

令和2年度 国語科

教科	国語科	科目	国語総合(現代文)	単位数	2/5 単位	年次	1 年次
使用教科書	数研出版『国語総合 現代文編』						
副教材等	『プレミアムカラー国語便覧』(数研出版)『字義で覚える常用漢字』(数研出版)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・漢字や語彙の力を伸ばし、「基礎的な国語の力」を身につけていきましょう。
- ・話し合いや文章記述、発表等を通じて、目的に応じた「話す能力」や「書く能力」(表現力)を身につけるとともに、他者の意見を「聞く能力」を身につけましょう。
- ・様々なジャンルの文章を「読む能力」、内容を「理解する能力」を高めるために、朝読の時間を有効に活用しながら、積極的に読書するようにしましょう。
- ・授業の前には必ず教材となる作品の本文は読んでおき、漢字・語彙の確認や表現、キーワードのチェック、要約等の予習をしておきましょう。また、授業の後には内容を振り返って復習をしてください。
- ・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2 学習の到達目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a: 関心・意欲・ 態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d: 読む能力	e: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて話し的確に聞きとったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評 価 方 法	行動の観察 記述の点検 (ノート・ プリント等)	行動の観察 (発表・グループ ワーク等における 活動等)	記述の確認 及び 内容の分析 (プリント等)	記述の確認 及び 内容の分析 (プリント等) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート・ プリント等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随想一	『知の体力』 「知の体力」という表現に込められた筆者の主張と理解し、自らの学習観を考える機会にする。	◎	○	○	◎	○	a:「何かをやると効果があるはず」という考え方、筆者の問題意識について、自分の意見を持つことができる。 b: a で考えた意見をお互い発表できている。 c: 内容を理解し、正確に要約をしている。 d: 本文についての問いに答えられている。 e: プリント等を活用し漢字や語彙を確認している。	a・b 行動の観察と確認 c・d・e ノート、プリント等の内容分析 小テスト 定期考査
1学期	評論一	『水の東西』 東洋と西洋、異なる二つの文化を比較することによりそれぞれの特徴をつかむ。	◎	○	○	◎	○	a: 本文に即した東洋、西洋を比較した例をあげることができる。 b: a で考えた例をお互い発表できている。 c: 内容を理解し、正確に要約をしている。 d: 本文についての問いに答えられている。 e: 予習プリントを活用し漢字や語彙を確認している。	a・b 行動の観察と確認 c・d・e ノート、プリント等の内容分析 小テスト 定期考査
1学期	小説一	『羅生門』 文章に描かれている人物、下人や老婆の心情を表現に即して読み味わう。	○		○	◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を情景、人物描写などの表現に即して読み、その効果に気づき、主題を読み取ろうとしている。 c: 主題を読み取った上で要約を行っている。 d: 主題を正確に読み取っている。 e: プリント等を通して背景となる知識の確認を行っている。	a 行動の観察と確認 c・d・e ノート、プリント等の内容分析 小テスト 定期考査

1学期	評論 二	『「わらしべ長者」の経済学』 昔話を引き合いに出し、経済学に結びつけている論理展開を理解する。	○	○	○	◎	○	a: 「わらしべ長者」の例が何故「経済学」の話に使われているのかを自分なりに考えようとしている。 b: a の意見をお互い発表し、コメントし合っている。 c: 内容を理解し、正確に要約をしている。 d: 本文についての問いに答えられている。 e: プリント等を活用し漢字や語彙を確認している。	a・b 行動の観察と確認 c・d・e ノート、プリント等の内容分析 小テスト 定期考査
1学期	小説 二	『旅する本』 文章中の表現を通じ、登場人物の心情や感じ方を理解し、読書という行為についての認識を深める。	○	○	○	◎	○	a: 作品と同じような体験をしたことがないか、作品に共感できるか、考えようとしている。 b: a の意見を交換し合っている。 c: 主題を読み取った上で、要約をしている。 d: 本文についての問いに答えられている。 e: プリント等を活用し漢字や語彙を確認している。	a・b 行動の観察と確認 c・d・e プリント等の内容分析 小テスト 定期考査
2学期	短歌と俳句	『正岡子規 他9人の短歌』 短歌のリズムや句切れを踏まえてその世界を味わい、日本の伝統的な文化に対する関心を広げる。 『正岡子規 他10人の俳句』 俳句のリズムや切れ字を踏まえてその世界を味わい、日本の伝統的な文化に対する関心を広げる。	○	◎	◎	○	○	a: 三十一文字や十七文字のリズムを味わい、その特色に気づき、日本の伝統的な言語文化に対する関心を広げようとしている。 b: 創作した短歌を相互評価している。 c: 短歌の創作を行っている。 d: 各短歌、俳句が表現する豊かな世界を読み取っている。 e: プリント・小テスト等を通して背景となる文学史的知識の確認を行っている。	a・b 行動の観察と確認 c・d・e プリント等の内容分析 小テスト 定期考査

2 学期	評論 三	『時間と自由の関係について』 対比的に述べられている概念を的確につかみ、抽象的な考えを自分たちの問題として理解する。	◎	○	○	◎	○	a:「時間の自由」について具体的に考えようとしている。 b: a を発表し合いお互いの考えを知ろうとしている。 c: 内容を理解し、正確に要約をしている。 d: 本文についての問いに答えられている。 e: プリント等を活用し漢字や語彙を確認している。	a・b 行動の観察と確認 c・d・e プリント等の内容分析 小テスト 定期考査
2 学期	評論 四	『「間」の感覚』 日本と内外の区別の仕方の特徴を本文を通じて理解する。	○	◎	○	◎	○	a:「間」の意味を自分なりに考えようとしている。 b: a について意見交換を行っている。 c: 内容を理解し、正確に要約をしている。 d: 本文についての問いプリントに答えられている。 e: プリント等を活用し漢字や語彙を確認している。	a・b: 行動の観察と確認 c・d・e プリント等の内容分析 小テスト 定期考査
2 学期	小説 三	『富嶽百景』 「私」の心情を理解し、富士と「私」との関係を遠し、作品の主題を掴む。	○		○	◎	○	a:「私」の心情の変化を情景描写と段落構成に即して読み取り、理解している。 c: 人物の心情表現に注意し、主題をまとめている。 d: 本文についての問いに答えられている。 e: プリント・小テスト等を通して作品の背景となる知識、文学史的知識を確認している。	a 行動の観察と確認 c・d・e プリント等の内容分析 小テスト 定期考査
2 学期	評論 五	『動的平衡の回復』 科学の発展によって起こりうる問題を意識し、地球全体のことを考える意識を持つ。	◎	○	○	◎	○	a: 具体例を挙げられる。 b: a を周りと意見交換できている。 c: 語の意味を理解しながら内容の要約を行っている。 d: 本文についての問いに答えられている。 e: プリント等を活用し漢字や語彙を確認している。	a・b 行動の観察と確認 c・d・e プリント等の内容分析 小テスト 定期考査

2 学期	詩	茨木のり子『喪失ではなく』を含め3編。 詩の構成やリズムを味わい、主題を読み取る。	○	○		◎	○	a: 詩の構成やリズム感を確かめ、その特徴について考察しようとしている。 b: 各詩の主題についての意見交換している。 d: 声に出して読むことで詩の構成やリズムが、表現上の特別な効果を生み出すことがあることを理解して主題の読み取りをしている。 e: プリント・小テスト等を通して表現の違いによる特色について理解している。	a・b 行動の観察と確認 d・e プリント等の内容分析 小テスト 定期考査
3 学期	小説 三	『城之崎にて』 文章に書かれている人物の心情を表現に即して読み取り、「私」が至った認識をもとに「生命」について考えを深める。	○		○	◎	○	a: 描かれた主題を読み取ろうとしている。 c: 文章の構成を意識しながら要約を行っている。 d: 本文についての問いに答えられている。 e: プリントや小テストを通して背景となる知識の確認を行っている。	a 行動の観察と確認 c・d・e プリント等の内容分析 小テスト 定期考査
3 学期	評論 六	『記録すること、表現すること』 キーワードから筆者の主張を理解する。 『他者を理解すること』 文脈に即し、筆者の抽象的見解を正確に読み取る。	○	○	○	◎	○	a: キーワードに注意して文脈を捉え、筆者の主張を読み取ろうとしている。 b: aについて意見交換をしている。 c: 内容を読み取った上で、正確な要約をしている。 d: 本文についての問いに答えられている。 e: プリント等を活用し漢字や語彙を確認している。	a・b 行動の観察と確認 c・d・e プリント等の内容分析 小テスト 定期考査

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 話す・聞く能力
c: 書く能力 d: 読む能力
e: 知識・理解

※ 評価の観点のうち、「関心・意欲・態度」と「知識理解」については、すべての単元に位置づけて○を、またその単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」）に関わる観点には◎を付している。

令和2年度 国語科

教科	国語科	科目	国語総合(古典)	単位数	3/5 単位	年次	1 年次
使用教科書	数研出版『国語総合 古典編』						
副教材等	『完全マスター古典文法』（第一学習社）、『必携 新明説漢文』（尚文出版）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・代表的な古文と漢文の作品に触れて関心を持ち、我が国の文化の特質や、大陸文化との関係について理解を深める。また、その為に正しく古文や漢文を理解すべく、語彙力と文法力の涵養に努めたい。
- ・古文、漢文共に基礎力の醸成は音読に拠ることを銘記すべし。

2 学習の到達目標

- ・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、時代を通して流れる日本人としての心情や豊かな感受性を受け継いで言語感覚を磨き、延いては国語を尊重する態度を育てる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観 点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解	
観 点 の 趣 旨	・古典を読む楽しさを味わい、古典作品に親しむとともに、理解や関心を深めようとしている。また、作品の味読を通し、我が国の伝統と文化を理解し、尊重する態度が見られる。	古典作品をその叙述に従って文法的に正しく読み取り、作品に表れた思想や感情を、表現に即して的確に理解している。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、基礎的な文語文法・漢文句法の知識と語彙力を身につけている。	
評 価 方 法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	記述の確認及び分析 (ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト	

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c			
1学期	古文編 古文入門	宇治拾遺物語 児のそら寝 絵仏師良秀 1(古文の基礎) 2(動詞・形容詞・形容動詞)	○	◎	○		a:音読を通して説話文学を読み「児」や芸術至上主義の「良秀」の言動を味わうことで古文に親しもうとしているか。 b:文章を表現の特色に注意して読み、心情や人物像を捉えているか。 c:古語と現代語の共通点、相違点について気づいているか。歴史的仮名遣いや語句の意味について理解しているか。文語のきまり(歴史的仮名遣い、用言等)を理解しているか。	・行動の観察 ・記述の確認 ・定期考査、小テスト ・課題の提出
1学期	漢文編 漢文入門	入門一、二 1(訓読の基礎) 2(再読文字・助字・置き字)	○	◎	○		a:わが国が漢字・漢文の導入によって書き言葉を手に入れ、言語・文学・思想を形成・発展させてきたことに気付いているか。 b:漢文特有の表現の特色に注意して読み、理解できているか。 c:漢文と日本語について、文の構造上の違いを理解しているか。また訓読のきまりを理解しているか。特に返り点、置き字・返読文字・再読文字の意味・用法を理解して正しく音読と書き下し文ができるか。	・行動の観察 ・記述の確認 ・定期考査、小テスト ・課題の提出
1学期	漢文編 故事	矛盾 狐借虎威	○	◎	○		a:漢文が、日本語の故事として現代も使われていることに興味を持っているか。 b:「狐」がどのように「虎」の「威」を借りていているのかを叙述に即して読み取り、「虎の威を借る」という言葉の面白さに気付いているか。 c:訓読・書き下し文のきまり・句法(禁止・使役・反語)を理解しているか。	・行動の観察 ・記述の確認 ・定期考査、小テスト ・課題の提出

1学期	古文編 物語	竹取物語 なよ竹のかぐや姫	○	◎	○		<p>a:音読を通して、「かぐや姫」誕生のいきさつや「翁」の置かれている状況の変化をとらえようとしているか。</p> <p>b:現代とは異なる古語の意味や成人や結婚の儀式について理解し、現代人のものの見方や考え方の違いを理解しているか。</p> <p>c:文語のきまり(形容詞・形容動詞)を理解しているか。助動詞「けり」「ぬ」の意味について理解しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察 ・記述の確認 ・定期考査、小テスト ・課題の提出
1学期	漢文編 故事	朝三暮四	○	◎	○		<p>a:現代に使われる「朝三暮四」という言葉がどのように生まれたかについて関心を持っているか。</p> <p>b:文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価できているか。</p> <p>c:訓読のきまり(再読文字・否定の意味・用法)を理解しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察 ・記述の確認 ・定期考査、小テスト ・課題の提出
1学期	古文編 歌物語	伊勢物語 芥川 筒井筒	○	◎	○		<p>a:歌物語が和歌を中心に物語が展開していくことに興味を持てたか。</p> <p>b:物語に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して歌を詠み味わえているか。</p> <p>c:文語のきまり(係り結びの法則・助動詞の働き等)を理解しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察 ・記述の確認 ・定期考査、小テスト ・課題の提出
2学期	古文編 日記文学	土佐日記 門出 帰京	○	◎	○		<p>a:現代の日記との差異に気づき、文学としての日記の発生に関心を持っているか。</p> <p>b:作者の日記執筆の動機を理解し、土佐で失った「児」に対する作者の心情を理解しようとしているか。</p> <p>c:文語のきまり(助動詞・助詞の働き)を理解しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察 ・記述の確認 ・定期考査、小テスト ・課題の提出

2学期	漢文編 史伝	管鮑之交 鶏口牛後	○	◎	○		a: 史伝の面白さを味わい、現代に生きる言葉や歴史に関心を持っているか。 b: 管仲の行動に対する鮑叔の評価や態度、戦国時代の外交政策を読み取れたか。 c: 句法(受身・使役・願望・反語)を理解しているか。	・行動の観察 ・記述の確認 ・定期考査、小テスト ・課題の提出
2学期	古文編 随筆(一)	徒然草 神無月のころ ある人弓射ることを習ふに 丹波に出雲といふ所あり	○	◎	○		a: 随筆に描かれている筆者の思想を読み取ろうとする態度があるか。 b: 文章の構成や展開、表現の仕方に注意して読み味わい、筆者の意図をとらえているか。 c: 文語のきまり(助動詞の識別等)を理解しているか。	・行動の観察 ・記述の確認 ・定期考査、小テスト ・課題の提出
2学期	漢文編 唐詩	絶句 静夜思 涼州詞 送元二使安西 律詩 登高 八月十五夜禁中独直对月 憶元九	○	◎	○		a: 漢詩の音読を通して「杜甫」「李白」が描こうとした心情を、詩人の人生と合わせて理解しようとしているか。 b: 漢詩の構成・リズムを理解し、和漢異義語「故人」「城」などの語彙に注意したうえで詩全体を読み味わえているか。 c: 絶句・律詩の形式や起承転結・押韻・対句等の漢詩のルールについて理解しているか。	・行動の観察 ・記述の確認 ・定期考査、小テスト ・課題の提出
2学期	古文編 随筆(二)	枕草子 雪のいと高う降りたるを 中納言参り給ひて	○	◎	○		a: 随筆に描かれている平安時代の宮廷文化に関心を持っているか。 b: 作品中で描かれている作者の機智を味わい、人間関係を正しく読み取れているか。 c: 文語のきまり(敬語法)を理解しているか。	・行動の観察 ・記述の確認 ・定期考査、小テスト ・課題の提出

3学期	軍記	平家物語 木曾の最期	○	◎	○		a: 木曾義仲と今井兼平の最期を通して描かれる盛者必衰の理を、リズム良い文体とともに味わおうとしているか。 b: 木曾と今井のやりとりの叙述から武士の主従関係や武士のものの考え方を知ることができたか。 c: 文語のきまり(敬語法・音便)を理解しているか。	・行動の観察 ・記述の確認 ・定期考査、小テスト ・課題の提出
3学期	古文編 和歌と俳諧	万葉集 古今和歌集 新古今和歌集 奥の細道 平泉	○	◎	○		a: 万葉集・古今集・新古今集の和歌の特徴を比較しながら読もうとしているか。 b: 和歌の表現の特色に注意して読むことができたか。 c: 和歌の修辞や語句の用い方、俳諧が生まれる背景について理解しているか。	・行動の観察 ・記述の確認 ・定期考査、小テスト ・課題の提出
3学期	漢文編 文章	雑説	○	◎	○		a: 古来、漢文の名文とされる唐宋八大家の文章を味わって読もうとする態度を持っているか。 b: この文章で作者が訴えたかったことは何かを読み取り、理解しているか。 c: 句法(詠嘆・限定・疑問・反語・部分否定)を理解しているか。	・行動の観察 ・記述の確認 ・定期考査、小テスト ・課題の提出
3学期	漢文編 思想	論語	○	◎	○		a: 儒家の思想が我が国の文化に与えた影響について関心を持っているか。 b: 孔子が考える学問・政治のあり方を表現に即して読み取り、自身の経験と重ねて読みを深めているか。 c: 句法(反語・詠嘆・疑問)を理解しているか。	・行動の観察 ・記述の確認 ・定期考査、小テスト ・課題の提出

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:読む能力 c:知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について◎を付けている。